



全日本ロードレース選手権第6戦 岡山国際大会 JSB1000クラス

開催日: 2008年10月5日(日)
会場: 岡山国際サーキット(3.703km)
観客: 14,300人
天候: 雨
コース: ウエット
周回数: 第1レース15周 / 第2レース20周
出走台数: 27台
P.P.: 秋吉 耕佑(スズキ / 2分07秒295)
FL(第1レース): 伊藤 真一(ホンダ / 1分40秒5819)
FL(第2レース): 伊藤 真一(1分38秒634)



JSB1000で初めてチャンピオンを獲得した



レース2で転倒するも再スタートでチャンピオンを獲得

中須賀 & YZF-R1、初の全日本チャンピオン

最終戦となった岡山国際サーキットでのMFJグランプリ。決勝レースは前戦の鈴鹿大会と同様に独立した2レース制で行われた。そしてレース1で3位、レース2で転倒しながらも再スタートを切って6位に入ったYSP&PRESTOレーシングの中須賀克行が、JSB1000のチャンピオンを獲得した。

決勝レース当日は雨でウエットコンディション。レース1で3番手スタートの中須賀は4周目頃からペースを上げ、5周目に5位、7周目に4位、8周目には3位へとポジションを上げる。トップは伊藤真一(ホンダ)で序盤から独走態勢を確立。レース終盤、中須賀は2番手の秋吉耕佑(スズキ)との距離を縮めるが届かず3位でゴール。佐藤は11位でチェッカーとなった。そしてこのレース1の結果から、中須賀はレース2で12位完走を果たせばチャンピオンを獲得できることになった。

そのレース2で、中須賀は12周目に転倒、すぐに再スタートを切るものの、右側のステップが転倒の衝撃で失われてハンドルを背負ってしまう。しかし、チャンピオン獲得の可能性を持つ秋吉と伊藤が13周目に転倒、ともにリタイアとなった。

これで酒井大作(スズキ)がトップに立ち、柳川明(カワサキ)が2位、そしてSP忠男レーシングチームの大崎誠之が3位となってチェッカー。また、中須賀は6位でチェッカーを受けるとJSB1000で初めてとなるシリーズチャンピオン

を獲得。佐藤はレース序盤からペースを上げられずに21位。

中須賀克行選手談(3位/6位):「レース2では、中盤で集中力を欠いてしまって転倒につながった。その瞬間チャンピオン獲得が遠のいたと思ったが、マシンを確認したら右側ステップは折れていたけど走らせられる状態だった。それで何としてでもあと7周を走り切るのだと集中した。今年、チャンピオンを獲得することができたのは、もちろん僕一人ではできず、支えてくれたスタッフ、スポンサー、毎レースで応援してくれた多くのファンのおかげだと思っている。とくに今大会で転倒したとき、こうしたみなさんの後押しがあったと実感した」

横山勝美テクニカルディレクター(YSP&PRESTOレーシング)談:「レース2の転倒ではすぐに再スタートを切ってくれて安心した。それにしても右側のステップがない状態での走行だったが、本当によく頑張ってくれた。今年、チャンピオンを獲得することができたのは、応援してくださったみなさまのおかげ、深く感謝したい」

福田典雄監督(YSP加古川店長)談:「年間チャンピオンを獲得した中須賀選手にはおめでとうと心から祝福したい。このような素晴らしいことを監督として体験でき、大変ありがたく思っている」

佐藤裕児選手談(11位/21位):「今回は本当に厳しいレースだった。レース1ではうまく走れたが、レース2ではフィーリングが合わなかった。今シーズンが終了し、スタッフ、チーム、そして応援していただいたファンの方々に本当に感謝の気持ちでいっぱい。これからのシーズンオフ、来季に向けての重要なポイントになると思っているので気を引き締めたい」

平忠彦監督(ワイズギア・レーシング)談:「今朝のフリー走行ではいいタイムを出して上位に入りレースでも期待したが、思ったほど上位でフィニッシュすることができなかった。ただ、今シーズンを振り返ると、全レースで完走を果たしたということは1年目として良かったと思う。これもワイズギア・レーシングを応援してくださったみなさまのご声援あってのこと」

大崎誠之談(5位/3位):「レース2で中須賀克行選手の転倒を知ったときは、とにかく自分が前に出て中須賀選手に代わって僕がヤマハにタイトルをと思ったが、次の周で確認したら、マシンがなかったので再スタートできたのだとホッとした。今シーズンは、本当に厳しいシーズンだったがランキング2位。とても充実した最高のシーズンになった」

第1レース

順位	ライダー	チーム	マシン	タイム
1	伊藤 真一	KEIHINKoharaR.T.	Honda	25'40.255
2	秋吉 耕佑	ヨシムラスズキwithJOMO	Suzuki	25'53.025
3	中須賀 克行	YSP&PRESTOレーシング	Yamaha	25'55.587
4	柳川 明	TEAM GREEN	Kawasaki	25'56.445
5	大崎 誠之	SP忠男レーシングチーム	Yamaha	25'56.756
6	岡田 忠之	DREAM HondaRT48	Honda	25'59.928
10	横江 竜司	RT森のくまさん佐藤塾	Yamaha	26'45.008
11	佐藤 裕児	ワイズギアレーシング	Yamaha	26'48.741

第2レース

順位	ライダー	チーム	マシン	タイム
1	酒井 大作	ヨシムラスズキwithデンソー	Suzuki	33'46.931
2	柳川 明	TEAM GREEN	Kawasaki	34'05.998
3	大崎 誠之	SP忠男レーシングチーム	Yamaha	34'10.037
4	山口 辰也	モリワキMOTULレーシング	Honda	34'28.964
5	亀谷 長純	Team 桜井ホンダ	Honda	34'49.126
6	中須賀 克行	YSP&PRESTOレーシング	Yamaha	34'53.091
7	横江 竜司	RT森のくまさん佐藤塾	Yamaha	35'04.422
21	佐藤 裕児	ワイズギアレーシング	Yamaha	+1Lap

ポイントランキング

1	中須賀 克行	Yamaha	157
2	大崎 誠之	Yamaha	140
3	柳川 明	Kawasaki	135
4	山口 辰也	Honda	130
5	秋吉 耕佑	Suzuki	122
6	酒井 大作	Suzuki	119
9	横江 竜司	Yamaha	96
11	佐藤 裕児	Yamaha	76